

仙台市立上杉山中学校 学校だより



杉の風

令和4年度 11月①

令和4年11月9日(水)

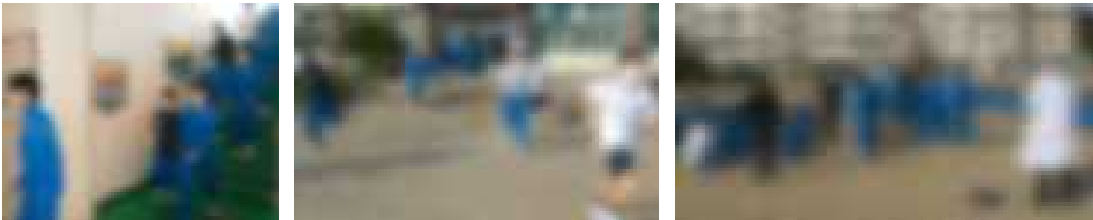
生徒数496名

自主 友愛 実践

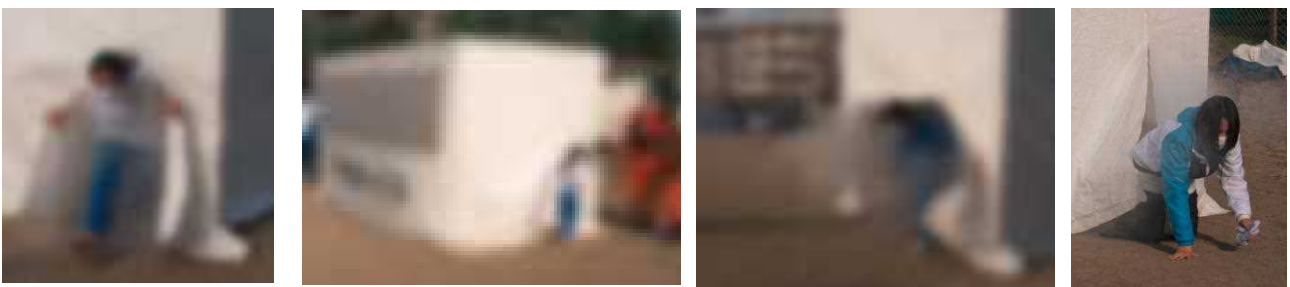
<http://www.sendai-c.ed.jp/~kamisugi>

避難訓練 訓練実施

10月27日に令和4年度、2回目の避難訓練を行いました。避難訓練の予告をしない状況での実施でしたが、生徒達は非常に落ち着いて行動していました。今回は調理室から出火した想定で、中央階段、東階段を使用しての避難でしたが、避難中は整然と移動し、校庭に速やかに避難し、避難開始からちょうど5分で避難が完了しました。消防隊員の方々にもお褒めの言葉をいただきました。訓練では、避難の他に消火訓練と煙体験の活動も行いました。消火訓練では消火器の使い方を学び、煙体験では、煙の充満した状況での避難の困難さを実感することができたようです。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。訓練を怠らず、常に備えておきたいものです。



↑真剣に避難する上中生。校舎内は走らず、外に出てからは駆け足で。点呼もスムーズに行われました。



↑消火訓練と煙体験を行いました。備えあれば憂い無し！先生方も真剣に訓練に参加していました。

避難訓練を終えての感想

先日は、私たちのために貴重な避難訓練をさせていただき、本当にありがとうございました。私はけむりの恐ろしさを体験し、実際に災害が発生したときにパニックになってしまうなど感じました。しかし、青葉消防署の皆様のお話を聞き、逃げ道を確保するなど、どう行動すればよいかよく理解できました。「共助」という大切な言葉も教わったので、頭に入れて命がなくなるような行動をしたいと思います。 3年 さん

久しぶりの避難訓練はいつやるのか少し感じていたけど、それでも皆は冷静で話すことなく、焦らずに避難できていたのでよかった。消火器体験では、使える機会がなく使い方を知らないといけなけど、よくわかっていなかったの、わかりやすく説明してくれてありがたかった。濃煙体験では本当によく見えなくてこれに有毒ガスもあり、だんだん黒くなっていったら焦ると思ったので、こういう機会に体験しているかは重要だと感じた。 2年 さん

令和4年上杉山中学校同窓会総会開催

10月15日（土）に上杉山中学校同窓会総会が開催されました。今年度の総会は、第27・28・29回生の方々が中心となりご準備いただきました。ところで、現上中生のみなさんは、今同窓会がどのような活動をしているか知っていますか。同窓会は「会員相互の交流及び親睦を図るとともに、母校の発展に寄与すること」を目的として、活動しています。記憶に新しいところでは、昨年度3年生を対象に、車いすバスケット日本代表選手藤本怜央選手をお招きしお話をいただいたときの講師料を同窓会費からお支払いいただいたり、過去には吹奏楽部の楽器の補充や東北大会参加への補助など、私たち上中生の活動を縁の下で支えていただいています。総会当日は、上中野球部OB、日本ハムファイターズで活躍した佐藤誠一選手のトークショーや懐かしのVTR上映などがあり、和やかに親睦を深めました。最後は校長先生指揮の下、上中校歌を斉唱しました。何十年経っても母校の校歌は歌えるものなのですね。歴史と伝統のある上杉山中学校を卒業すると上杉山中学校の同窓生となります。みなさんも卒業後も上中同窓生として上中を支えてください。

→ 佐藤誠一 元日ハム選手



←玄関にある日時計。1975年12月19日に設置。シチズン時計が募集した作文コンクールで先輩がみごと最優秀賞を獲得。学校賞として贈られた。台座にタイムカプセルが付いており、2000年に開けるといって思い出をしまった。

「子どもとゲームの関係」みんなはどう考えた？

11月23日は「ゲームの日」です。人々が仕事や勉強の大切さを自覚し、生活の中に調和させながらゲームを楽しむことを目的に、一般社団法人日本アミューズメント産業協会（JAIA）が制定しました。昨年の11月23日にYahoo!のニュースで上記のタイトルで記事が掲載されていました。Yahoo!コメントでもゲームに関する意見が多数寄せられ、子を持つ親の関心の高さもうかがえますが、意見は賛否両論様々なものが寄せられていました。スマホ同様、子供にとって今は切っても切り離せないものとなりましたが、ルール作りは各家庭に任せられ、異なる価値観をもつ各家庭の子供たちがつながって同じゲームをして遊ぶということも、この問題を難しくしているのかもしれない。悩みはつきませんが、スマホ、ゲームにはまってしまう、成績が落ちたという話はもはや他人事ではありません。上手に使える余暇の時間が充実するアイテムです。学習時間、部活動の時間、睡眠時間と余暇の時間のバランスの取れた生活ができるよう、お声がけをお願いいたします。

【上記の記事のURL <https://news.yahoo.co.jp/special/game/>】

スマホの使用について御協力を

上中生も例に漏れず、スマホ、ゲーム等への関心は非常に高いようです。子供には子供の社会があり、その中で生きていくための「ツール」として、もはや切り離すのは難しい状況になってきています。ただし、スマホやゲームに関しては従来から言われているとおり、小中学生の段階で与えても、メリットよりもデメリットの方が大きいと感じます。スマホを使いこなしていると思っても、いつの間にか、スマホ中毒となり、手放せない状態になりかねません。今一度、家庭でのルール作りなどを行い、家庭での使用状況も把握していただきたいと思えます。また、情報モラルなどに関しては授業で取り上げてはいきますが、今年度SNS上でのトラブルが発生しております。お子様のスマホの使用につきましては、保護者の責任の下、各御家庭内で御指導いただきますようお願いいたします。

なお、総務省より「インターネットトラブル事例集」が発行されております。右のQRコードからアクセスできますので、是非御覧ください。

